『芸は身をたすく』といはれ、手に職がないために就職の機会を失う場合が往々あります。特に現在のような社會状勢ではその感が深いようです。技能を身につけて、安定した常用の仕事に就きましょう。

県内七ケ所に、公共職業補導所が設置され、職業の補導に努めています

市報 いしおか

5月号
第13号
毎月1回
10日發行

發行所　石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話（代表）38番
發行人　鬼沢賢造

人口と世帯（4月31日現在）

世帯數		7,229世帯
人口	男	17,617人
	女	18,785人
	計	36,402人

一日二千貫のゴミを處理

じん芥焼却場近く火入

市内東田中地内（縣道小川道際）に工費百九十万円で建設中の市營じん芥焼却場がこのほど完成、近く火入を行うことになつた。

この焼却場は焼却爐二基を備え、市内五千戸（市街地）から掃出されるゴミを一日に二千貫焼却する能力を持つている。

燃焼率を高めるため煙突は八十尺（神榮製絲の煙突は一二〇尺）という高さである。

焼却した灰は肥料として賣却し市の收入をはかるが價格は十貫詰一俵八十円（中味）位の見込で市の收入は年間三十万円程である。

写眞は、じん芥焼却場とゴミ集荷に使用される大型トラック

就任の御挨拶

市長　川並　要

市民各位の絶大なる御同情によりまして、この度市長當選の榮に浴しましたことを、深く感謝申し上げる次第でございます。

この上は各位の御信任に添うべく、市民の公僕として、いよいよ清新の氣を持ちまして、その職務に精進する覺悟であります。

とりわけ、大石岡市建設の構想として、同時に市民の福祉と市發展の根幹として、さきに議會の議決を経て自治廳へ提出してあります「石岡市建設五ケ年計画」の實現につきましては、あらゆる努力を傾け盡す決意でございます。

そのためには申すまでもなく、財政的裏付けが先決問題でありますから、市民各位の御理解によつて、納税成績の向上を図り、冗費を節約し、他面、縣や国からの補助金交付金等の獲得につとめまして、逐次その實現を期する所存であります。

新市議の顔ぶれ

議長選挙など八議案

初市議會十八日招集

初の市議會は議長選挙ほか七議案について五月十八日招集されることになり、左記の通り告示された。

石岡市告示第一五号

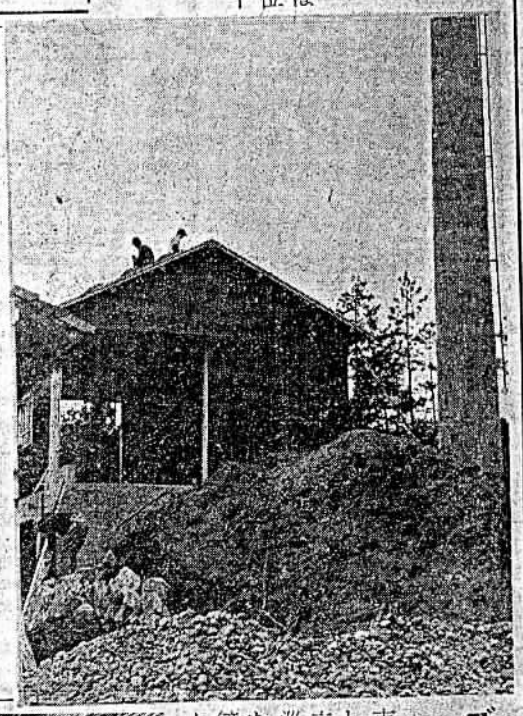
左記事件につき昭和三十年石岡市議會第二回臨時會を五月十八日石岡市役所議場に招集する。

昭和三十年五月十日

石岡市長　川並　要

記

一、議長選挙について
二、副議長選挙について
三、常任委員の選任について
四、常任委員會の委員長及副委員長の選任について
五、教育委員会委員の選挙について
六、都市計画審議會委員たるべきものの選挙について
七、臨時出納立会議員五選について
八、監査委員選任について



ゴミ搬出は月三回

大型トラックで巡回

市街部のゴミ搬出作業は新らしく購入した大型トラックが六つに分けた地域を月に三回巡回して清掃することになつた。なお巡回搬出車の到着は鐘を鳴らしてお知らせすることになつている。

共濟組合の合併

現在當市には石岡、高浜、三村、關川の四農業共濟組合があるが、一市町村一組合でなければならないので、この四組合を合併するため目下準備が進められており、今月中には各組合で合併の議決を行い八月から合併することになる見込である。

食費、藥價の實費徴收

市では本則（傳染病豫防施行規則）に則り傳染病費用徴收條例を制定した。

これにより、市隔離病舍に收容治療を受けた傳染病患者は食費及び藥價の實費を支拂うことになるが、生活保護の適用者や特別の事情ある者は免除される。

なお、第一期分の納税令書は保険委員又は、駐在員を通じ二十日頃各家庭へ配布されます。

▼第一期　五月末日限り▼第二期　七月末日限り（關川區＝九月末日、三村區＝八月末日）▼第三期　九月末日限り（関川、三村區＝十二月末日）▼第四期　十一月末日限り（三村區＝一月末日、関川區＝二月末日）▼第五期　一月末日限り▼第六期　三月末日限り

注、三村、關川區は第四期まで。

保険税の納期

石岡區＝六期
三村・關川區＝四期

社會保障制度の一環として市では、昨秋保険料を保険税と改め納付義務を明確化したがこのほど保険税の納期を次のとおり定めました。

市消防長に齊藤氏

欠員中の市消防長には四月二十六日附で市助役齊藤義雄氏が任命され、この事務を山口消防團長が委任された。

優良納税組合めぐり

▲碁石沢納税組合▼

記者は一日寸暇をさき碁石沢区を見聞した。全戸數三十の純農村で米、麥、甘藷は勿論副産物として野菜、煙草、養蚕等豊富に生産される比較的恵まれた地にあり、仕事にいそしまれる姿が野良に家に見かけられた。この地に納税組合が設立されたのは昭和二十七年一月で農閑期に全區民話し合い全員加入、現在迄一〇〇％の納税成績を持続している。これは組合長の郷土を想う情熱が組合員の理解と協力により、この金字塔を打ち立て得たのだろう。

この地にも戦後納税思想の低下と経済事情の悪化等により一時滞納が多かつたが、組合設立と同時に一錢の滞納もなく整理し得た事は町づくりの上に明るい光をなげ與えておることと組合長さんの話に共鳴しつつ二十分の見聞を終り歸聽した。昨年度は市長より優良納税組合として金壱封を贈られ第一回表彰の榮譽に輝いている。組合長岡野鐵之助氏、副新田彦太郎氏。

消防ホースを整備

市消防團の消火ホースは老朽のものが多く、火災の折に洩水がひどいので、このほど新ホース三十數本（約四十万円）を購入して各ポンプ自動車に配備した。

今月は固定資産税（第一期）の納期です

失業對策事業重要視ところ

失業者は漸増の傾向

昭和二十八年秋から急轉的にはじまつたデフレ政策の余波により、生産力の停滯、卸賣物價の下落購買力の減退へと追込まれ、また一面、失業者、生活困窮者、欠食兒童は益々増加している。經済審議聽の調査によれば六月には完全失業者が百万人を超えるという。

○石岡職業安定所の窓口調査によれば、窓口失業者は本年三月末一〇八人（二十八年同期一四六人）となつており、昨年より減じているがこの内八〇%が女子であることは注目すべきである。本縣での失業者は、昨年九月の調査で一二、七〇〇人で前年同期と比較して五〇%増加している。

○今春の市内の高校、中学校卒業者は一、二八四人（内女六一〇人）であるが、その内上級進学者が三九二人（内女一八五人）で就職者は三三一人（内女一三〇人）で、職を求めている者が二九三人いる（三十年度卒業後の狀況調による）

○大藏省の財務局長會議の報告によれば全国の就勞率は、昨年四月に三〇%、同九月には二二・五%とに低下したという。

○生活保護の面を見ても、全国で一八八万人、本縣で三万九千人、本市でも五七〇人という保護者がいる。

○市内小中学校の欠食兒童は二一人（昨年五月調）の數に昇り深刻なデフレの様相を呈している。しかし、国においては緊急就勞對策や融資計畫等と重点的に行うようである。

○市としても、この問題を大きく取上げ、中小業者の金融對策、土木事業强化による失業者救済等を重点施策としてこれを最少限度に喰止めようと愼重な對策を研究中である。

母子世帯へ資金貸付

市福祉事務所では母子世帯（配偶者のない女子で滿二十才未滿の兒童を扶養している者）に對する、生業資金や修學資金等の貸付申込を受附けています。

貸付資金の種類は

◇生業資金 ◇支度資金

◇技能習得資金◇生活資金

◇事業繼続資金◇修学資金

◇修業資金

で、償還期限、利子等は非常に有利な條件のものです。

貸付の決定は實態調査の上、縣が決定することになります。詳細は市福祉事務所へ御相談下さい。

募集

駐在主任駐在員さんに良い名称を!!

市では各家庭との連絡を密にし、行政が隅々まで行届くようにするため、各町内、部落駐在主任及び駐在員さんを委嘱してありますがこのよび名がよくないという聲がありますので、もつと親しめる適當なよび名に改めたいと思います。

どうか皆様のよいおぢえをお借りしたいと思います。

◎締切 五月三十一日

◎宛先 石岡市役所總務課

◎住所 氏名、年令、明記のこと。

◎賞金 採用の分には千円の賞金を差上げます。

龍神山に櫻苗三百本

海拔二一〇米の展望台、龍神山一帶の觀景を遊園地にとの聲は今のことでないが、これが第一歩として、このほど村上より佐志能神社に至る山道に吉野桜の苗三百本を植樹した。

自治川柳

選擧風景

住宅は立たぬが候補やたら立ち

葡萄糖射しつゝ候補貳貫痩せ

落選のビラが泣いてる町はずれ

（高浜竹庵）

虫歯は日本人の國民病

本年も虫歯豫防の週間が六月四日から一週間全国的に行われます。

虫歯は日本人の國民病といつてよいほどたくさんの人が、おかされています。

ある学者は、虫歯は食後すぐ始まるといえ、食後三分間以内に三分間歯を清掃することを主張しています。

虫歯は直接生命に關するほどの病氣ではないので、だれも輕く考え勝ちですが、時には重い病氣をおこす原因となります。市民生活に種々と影響のある虫歯を豫防して、健康なからだを作りたいものです。

声の欠子

是非、続行して下さい

毎朝八間道路の丁字路を通行する通勤者の一人ですが朝のラッシアワーに交通整理をされている警察署のお巡りさんには、頭がさがります。

めつきり増した三輪トラックなど交通量の多い道路を横斷することは容易な業ではありません。殊に子供たちの多い時刻であるので、どんなにか事故防止になることでしょう。今後も続行して下さい。

（通勤者）

新石岡市政に望むもの

十五日間にわたるはげしい戰いが終り、三万六千市民の新らしい期待を背負つて新市長、新市議が選ばれた。

そこで私は新石岡市政にのぞむものは、選擧のしこりを今後の市政に絶体に殘さないことである。感情に走つて反市長派とか市長派とかの分派行動がとられたとしたら、これは重大な問題である。それは政治を私物化する感覺であり、民主々義の破壞である。

議場で市民の福利増進のために白熱する論議を交わしよりよいものを求めようとすることは最も望むべきことであるが、そこに感情をさしはさみ徒らな横車や反對の爲の反対等が行われていくとしたならそれは再び政爭の石岡を招くことであり、最も損害をうけるのは吾々市民であるのだ。

かかる動きがもし現われたとしたなら吾々市民は斷じて默過し得ない。

（愛市青年）

市章の着用を

最近、何々會社の社員とかK社の集金員とか稱し、僞名をかたつて金錢を巧みに卷上げる詐欺行爲が新聞紙上を賑わしているようです。

人を疑ぐることは誠に失禮ですが、市でも税金の整理徴收や、寄附行爲などで職員の方々が直接に家庭に接して金錢を取扱う場合も少くないと思います。

市には、公募によつてできた立派な市章もあることなので是非とも全職員が明瞭な市章を着用して、その存在を明らかにしていただきたいと思い、轉ばぬ先の杖として一言呈します。

（泉町 主婦善子）

"奇麗な保険で明るい就職"

失業保険制度の普及が徹底されるにつれて、また反面巧妙に悪用し不正な失業保険金を受ける悪質者が増加の傾向にあるので石岡公共職業安定所では、これが健全化にのりだした。安定所長談

『このような行爲を放置することは、善良な保険金受給資格者に誠に相済まないことです。また失業保険経済にも重大な破綻をきたす結果となりますので、不正受給者を徹底的に取締る方針です。どうか失業保険事業の健全な運營を図るため受給者は勿論、事業主及び一般市民各位の御協力をお願い申し上げます』

市内官公署めぐり (1)

石岡電話中継所

市内泉町杉並の國道際にトーチカを想わせるようなコンクリートの建物と、それに並ぶ數軒の近代的住宅が建ち並んでいる。

これが本年三月末新らしく開局した水戸電話中継所石岡分室である。

この中継所は電々公社自慢の東京—仙台間搬送電話の中継所で中谷久男所長以下四名の職員が管理にあたつている。諸施設は全部自動式になつているので將來は無人化することができるそうである。

搬送電話とは、一対の電話を利用して同時に十八組の人が通話できるという近代的のものであるが、その原理は一対の送話機と受話機の間を同時に十八組の人の聲をそれぞれの種類（十八の種類）の波長の電流にのせて送るわけである。

しかし、この通話は二十五粁位進むと勢力が衰えて進めなくなるので、これを出發時と同じ勢力に盛りあげて先へ送り出す役目をするのがこの中継所である。

なおこの中継所に公衆電話が附設されて一般の便に供されている。

よい青年は市の寶

第十一回青少年保護育成運動

五月一日から一ケ月間全国的に第十一回青少年保護育成運動が展開されています。

この運動の目標は、①青少年及び家庭の責任と自覚を高めること、②青少年に有害な出版物、映畫を排除すること、③覺醒剤の根絶。などがとりあげられています。

青少年がりつぱに育つことこそ、家庭も、市も、国もよくなるからです。

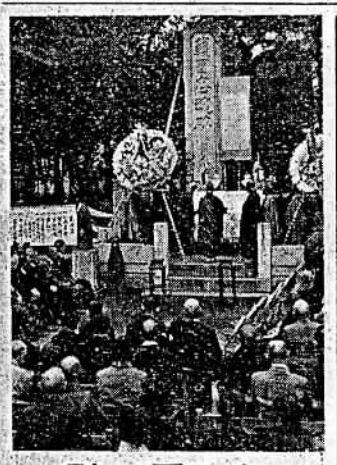
来往ゆきき

四月分

出生 五四人 死亡 二七人

出生の部

町名	父の名	續柄	出生児
元眞地	幸雄	長女	古谷由美子
幸町	俊男	長女	長谷川知世
守木	利雄	三女	小貫恭子
中町	昇三	長男	村山隆一
〃	誠二	長男	高林誠也
若松	恒次	長女	來栖美知子
〃	弘	長男	田館健市
〃	清	二男	廣瀬初實
〃	誠	長男	栃本達夫
〃	藤男	長男	青木一男
〃	千次	長女	寺門千香子
香丸	廣	長男	久保田敏文
國分	富	長男	塚野高史
〃	豊一	二女	信田浩子
仲之内	滿雄	長男	海老澤邦彦
大小路	鐵之助	長男	沼田利光
金丸	武三	二女	金子とも子
〃	義雄	長男	萩原節夫
〃	隆彬	長女	飯田尙子



祭靈慰

去る八日、市及び桜會共催で西南役から余柱の遺族を招き、国分寺の戰沒者六百境内にある慰靈碑の前で、厳かに慰靈祭を催した。

死亡の部

死亡者	年令
佐藤久子	〇
〃 關治	二八
〃 泰	二三
〃 柴野允之	二三
〃 和田吉昭	五
〃 若松仁平幸子	四
〃 國分山口友次郎	八二
〃 相馬カネ	四八
〃 今泉常太郎	六一
〃 泉町矢口寅次郎	七七
〃 富田駒五郎	七六
〃 貝地眞家常男	一八
〃 駒田政成	六八
〃 正上内小松崎とみ	七七
〃 根當色川勇	二
〃 染谷渡辺幸藏	六七
東大橋立川博	〇
〃 大山由松	八三
〃 鈴木淳三	七〇
〃 淺野とよ	七五
三村山本勇	三一
〃 山口安吉	九〇
〃 木澤長助	六九
〃 久保田政成	六八
〃 齋藤榮太郎	三五
〃 石川菊地平之亟	六六
〃 渡辺あき	三六
〃 關坂本さた	七六
〃 井齋藤いと	七七
〃 金丸茂次	三女
〃 態二	二男
〃 元吉	二男
〃 守横鐵耶	二女
〃 敏夫	二男
〃 好夫	長男
〃 英裕	長男
〃 金治	二女
〃 眞人	長女
富田清	二女
貝地甲子郎	長男
田島繁松	四女
〃 豊吉	二女
〃 操	二女
牛の木誠	長女
〃 久雄	長女
〃 俊雄	長女
〃 善吉	長女
谷向愚一郎	長女
高濱昭治	長男
東大橋啓一郎	長男
〃 正男	長男
中津川勇	二女
〃 五郎左衛門	三男
〃 芳男	長女
〃 遠雄	長男
三村敬二	三女
〃 良雄	二女
石川誠昇	二男
〃 一	長男
〃 金夫	長男
非關弘	二女
〃 博	長女
〃 誠之	二女
〃	小松崎强生
〃	三女
〃	二男
〃	二女
〃	二男
〃	長男
〃	二女
〃	長女
〃	二女
〃	長女
〃	二女
〃	長女
〃	長女
〃	長男
〃	長男
〃	長男
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女
〃	二女